

山梨県におけるCKD普及啓発活動

- 内容
- 1) CKD医療連携に特化した講演会
 - 2) 行政のCKD教室への講師派遣
 - 3) 行政と医療機関の共通資材としてのYouTube動画
(山梨方式)

* 腎臓病デーの活動はコロナ禍で自粛中です

山梨県	代表	原口和貴
同	リーダー	内村幸平
同	同	廣瀬 真
同	同	若杉正清



1) 医療者向けのCKD医療連携に特化した講演会

医療連携を中心とした講演会を計画し開業医のみならず行政の保健師、看護師、栄養士、薬剤師など多職種に広く呼びかけた。

山梨腎臓内科医会は所属医療機関、出身大学、専門医非専門医などの枠を超えて、山梨県の腎臓医療に携わる内科医系医師が連携して諸問題について考え行動していくための組織です。会長に原口和貴先生を選出しました。第一回総会は腎臓病協会理事長柏原直樹先生をお招きして開催しました。

山梨慢性腎臓病対策協議会は2010年から活動を続けています。今後は山梨腎臓内科医会での活動が中心になります。2022年は群馬大学の廣村桂樹に群馬県におけるDXを駆使したCKD対策についてご講演をいただきました。行政、かかりつけ医と専門医、腎臓病療養指導士間の活発なディスカッションが刺激的でした。

製薬企業の主催の講演会でしたが、ご厚意により製品紹介色が全くない講演会となりました。京都府立大学の草場哲郎先生、千葉東病院の今澤俊之先生のご講演を賜りました。山梨大学内村幸平先生、信州大学橋本幸治先生を交えて熱いディスカッションが行われました。


山梨腎臓病療養指導士会は第一回総会が開催され山梨大学の内村幸平先生を会長に選出しました。山梨大学の小佐野慧一先生、崇城大学門脇大介先生のご講演でした。腎臓の基礎的な理解を深めるための一般講演と腎臓病療養指導士の職種別にスポットを当てるような目的で構成された有意義な講演会でした。

WEB併催

第1回 山梨腎臓内科医会 学術講演会

日時 2022年8月31日(水) 19:00~20:40

会場 ベルクラシック甲府 3階「エリザベート」
視聴予約URL: <https://cutt.ly/kLmqvky>
※Zoomのセミナーによる視聴も可能です。WEBでの視聴をご希望の方は上記URL又は二次元コードから登録ください。なお当日のご登録も可能です。



Program

学術情報提供 19:00~19:10 協和キリン株式会社

【開会の辞】 19:10 ~ 19:20

『山梨腎臓内科医会発足のご挨拶』
原口内科・腎クリニック 理事長 原口和貴先生

【一般講演】 19:20 ~ 19:40

座長 富士吉田市立病院 腎臓内科 医科部長 廣瀬真先生

『どこまで出来てる!? iPS細胞からの腎臓再生』
演者 山梨大学医学部 内科学講座 腎臓内科学教室 講師 内村幸平先生

【特別講演】 19:40 ~ 20:40

座長 山梨県立中央病院 院長補佐 若杉正清先生

『腎臓病の克服を目指して ~山梨腎臓内科医会への期待~』
演者 川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学 主任教授 柏原直樹先生

※会場には軽食をご用意しております。
※本セミナーで取得した施設名・所属・ご職種・ご氏名・メールアドレスは、弊社による医薬品および医学・薬学に関する情報提供並びに参加者に関する確認のために利用させていただきます。また当該情報は共催の山梨腎臓内科医会に開示させていただきます。ご同意いただけるようでしたらご参加ください。

共催：山梨腎臓内科医会 協和キリン株式会社

山梨慢性腎臓病対策協議会

これからのCKD医療連携を考える会

日時：2022年9月8日(木) 18:30~20:30
形式：ZOOMによるオンライン配信 事前登録用 2次元バーコード



事前登録URL: https://astrazeneca.zoom.us/webinar/register/WN_t2K5jVNS5uU4SegDs6tNA

総合座長：原口内科・腎クリニック 院長 原口和貴先生


Lecture 1 (20min)：行政の立場から
「CKD医療連携における行政の役割について」
甲斐市 子育て健康部 健康増進課 成人保健係 大森恵美子先生

Lecture 2 (40min)：県外の事例をもとに
「群馬県におけるCKD対策とSGLT2阻害薬への期待」
群馬大学大学院医学系研究科 腎臓・リウマチ内科学 教授 廣村桂樹先生

Short Lecture & Discussion (60min)：
～専門医の立場から～
山梨県立中央病院 腎臓内科 医長 長沼司先生
～かかりつけ医の立場から～
たわら内科クリニック 院長 俵章夫先生
～腎臓病療養指導士の立場から～
原口内科・腎クリニック 看護師 齊藤慶子先生
山梨大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長 橋田文彦先生

山梨県医師会生涯教育講座 10：チーム医療（1単位）、73：慢性疾患・複合疾患の管理（0.5単位） 申請中
日病薬病院薬学認定薬剤師制度 単位取得予定

共催：山梨県慢性腎臓病対策協議会 / 山梨県病院薬剤師会 / 小野薬品工業株式会社 / アストラゼネカ株式会社 後援：中巨厚医師会 / 北巨厚医師会



Scientific Exchange Meeting in Nagano/Yamanashi

～CKDの早期診断・早期治療に向けて～

謹啓
時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は弊社に格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。弊社ではこの度、ご開業の一般内科の先生方腎臓内科のご専門の先生方を対象に最新の情報をご提供させていただきます場として、Web会議ツールを用いたオンラインでの『Scientific Exchange Meeting in Nagano/Yamanashi』を開催することとなりました。ご多用の事とは存じますが、是非ともご臨席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

日時：2022年10月12日(水) 19:00~20:40

開催場所：Web会議ツール(ZOOM)を用いたオンライン講演会として開催

【プログラム】

- Special Lecture1 (30分)
座長：上條 祐司先生(信州大学医学部 腎臓内科 診療教授)
『CKDに対するSGLT2阻害薬への期待～基礎研究及び臨床研究からの最新の知見～』
演者：草場 哲郎先生(京都府立医科大学 循環器内科学 腎臓内科学部門 講師)
- Special Lecture2 (30分)
座長：原口 和貴先生(原口内科・腎クリニック 院長)
『千葉県における腎疾患重症化予防対策～早期診断・早期治療・多職種連携医療を全ての人が 広く享受できる体制を目指して～』
演者：今澤 俊之先生(独立行政法人国立病院機構 千葉東病院 統括診療部長・腎センター長)
- Discussion (40分)
司会※五十音順：上條 祐司先生(信州大学医学部 腎臓内科 診療教授)
原口 和貴先生(原口内科・腎クリニック 院長)
『長野県・山梨県におけるCKD対策の現状と課題』
ディスカッション※五十音順：
内村 幸平先生(山梨大学医学部 内科学講座 腎臓内科学教室 講師 兼 血液浄化療法部 副部長)
橋本 幸始先生(信州大学医学部 腎臓内科 講師)
コメンテーター：ご講演いただいた先生方

※注意事項
・ 会議案内メールの転送や開示、医療関係者以外の方がいらっしゃる公共の場所などでの本会へのご参加、並びに会議の録音・録音・撮影等はお控えいただきますようお願い申し上げます。

主催：アストラゼネカ株式会社 メディカル本部

山梨腎臓病療養指導士 学術講演会

日時 2022年5月12日(木) 19:00 ~ 20:30

会場参加 甲府記念日ホテル 1F 昇仙閣 甲府市湯村3-2-30 055-253-8111

配信参加 Zoom WEB配信



プログラム

総合座長 山梨大学医学部附属病院 腎臓内科 科長 血液浄化療法部 副部長 内村 幸平 先生

一般講演 19:00~19:30 「腎臓病における蛋白尿の解釈」
演者 山梨大学医学部附属病院 腎臓内科 臨床助教 小佐野 慧一 先生

特別講演 19:30~20:30 「CKD対策で薬剤師ができること」
演者 崇城大学 薬学部 教授 門脇大介 先生

●会場およびZoom配信のハイブリッド形式で開催いたします。
●会場にお越しの際は、マスクの着用をお願い致します。
●本会での飲食のご提供はございません。
●ご施設名、ご芳名につきましては、医薬品の適正使用情報および医学・薬学に関する情報提供のために利用させていただいております。

主催：田辺三菱製薬株式会社

2)行政のCKD教室への講師派遣

市民公開講座などでは、時間的に余裕のある参加者が、繰り返し参加する傾向があります。山梨県ではいくつかの市町村で特定健診のCKDの有所見者に対する講習会を開催しており、専門医が”出前(=出張)で”講演をしています。行政の工夫により参加者が繰り返し聴講することを避けて、CKD有所見者に必要な情報を効率よく提供できています。

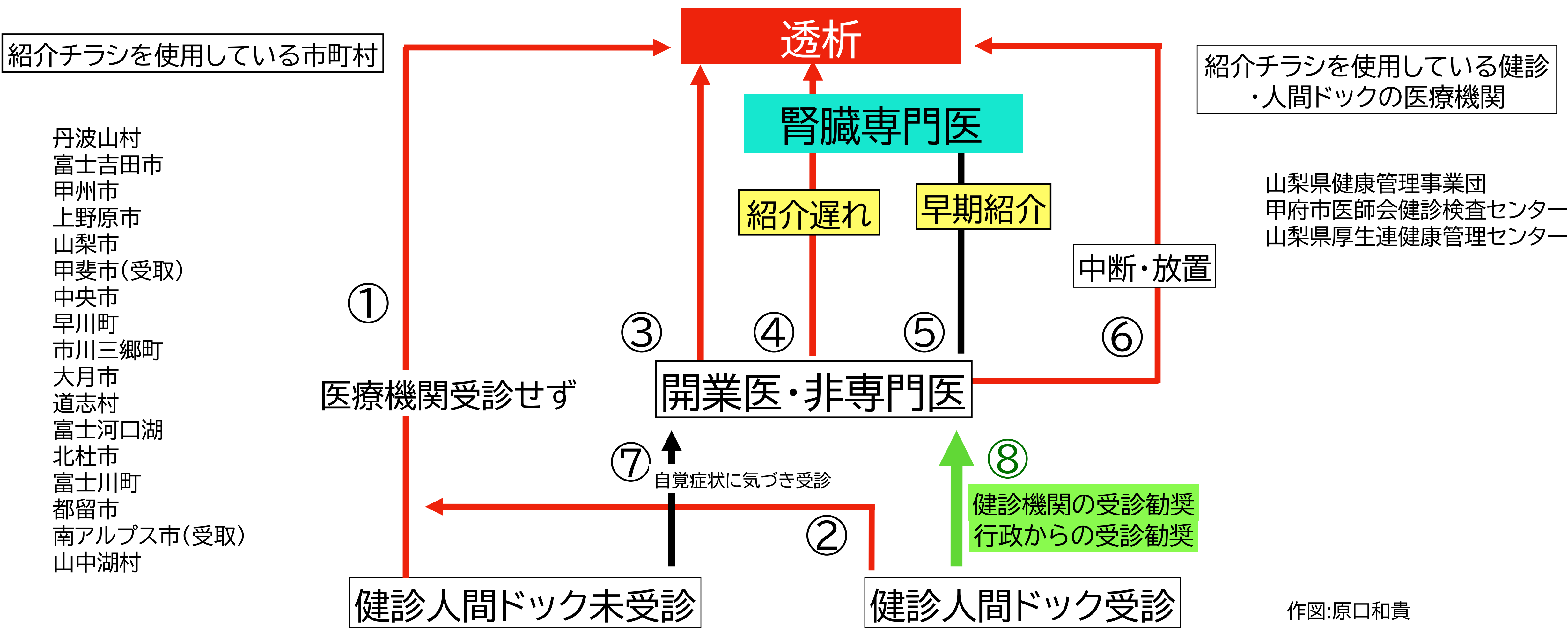
対象者に対する行政からの講習会への呼びかけには、積極的に参加して下さる方が多いようです。

講演会後の情報交換は非常に重要です。現場の保健師さん達は直接患者さんに接しています。彼女達の力を引き出さなくてはCKDの啓発はおぼつかないでしょう。



3)行政と医療機関の共通資材としてのCKD啓発YouTube動画 (1)

下の図はCKD患者が透析に至るまでの過程です。腎臓専門医が通常考える”医療連携”は下図の③④⑤であり、透析を確実に回避できるのは⑤だけです。④⇨⑤の対策だけで透析導入が減少するかは定かではありません。このため下の緑色で記した⑧の健診人間ドックの有所見者を如何にして確実に再検査し、必要に応じて医療の仕組みに組み込むかが極めて重要です。⑧の流れをより太くする対策が必要です。行政での患者啓発用資材の不足状況を踏まえYCKDI(山梨慢性腎臓病対策協議会)ではCKD啓発YouTube動画を作成し、この紹介チラシを県、市町村、健診・人間ドックなどでの受診勧奨等に利用していただいています。




3) 行政と医療機関の共通資材としてのCKD啓発YouTube動画 (2)

山梨方式でのYouTube動画の活用方法はある程度検診、人間ドックなどでの普及を目的としている点です。検診結果の説明会で動画を使用したいという市町村もありますので今後使い方が広がっていく可能性があります。

山梨慢性腎臓病対策協議会(YCKDI)では人間ドック、健診などで腎臓に関する異常を指摘された方に向けて関係諸団体*のご協力を得て、YouTubeを使い情報提供を行なっています。動画の作成は腎臓専門医、腎疾患診療に関する特別な資格を有する看護師、保健師が担当しています。いずれも5分から10分程度の長さで分かりやすく正確な情報提供を心がけています。不確かな情報に惑わされて自己流の解釈で間違った対策を取らないようにしましょう。

*ご協力いただいた関係諸団体：山梨腎臓内科医会、山梨腎臓病療養指導士の会、山梨大学腎臓内科、山梨県立中央病院腎臓内科、山梨県福祉保健部健康増進課

動画リストの使い方：
ご自身の異常を確認の上、裏面表のどれに該当するか確認してオレンジ色の番号で記載された動画をご覧ください。動画の説明は裏面に印刷してあります。パソコンからは記載されているURLを使い、携帯電話からはQRコードを読み取ることにより視聴できます。

山梨県ホームページ 病診認定医リスト 

YCKDI ホームページ <http://www.yckdi.org/> 









原口内科・腎クリニック内 YCKDI 事務局 〒400-0115 山梨県甲斐市篠原 2975-1

本パンフレットは、令和4年度厚生労働科学研究費補助金(腎疾患政策研究事業)「腎疾患対策検討会報告書に基づく慢性腎臓病(CKD)対策の推進に資する研究(課題番号22FD1001)」の支援により作成しました。

動画リスト

対象者	視聴おすすめ動画の順番	C: 要再検査 D: 要精密検査
eGFR(腎機能低下)	1 次に 6	(医療機関の受診が必要な時)
尿蛋白と血尿	2 次に 6	
糖尿病(糖尿病の疑い)	3	8
糖尿病+eGFR低下または尿蛋白	4 次に 3	
腎のう胞	5	(かかりつけ医、病診連携医と腎臓専門医連携について)
高血圧	7	

◆腎臓病または糖尿病に関する異常を指摘された場合：(書いてある順番に視聴していただくと分かりやすいと思います)
◆糖尿病に関する異常でC判定(要再検査)、D判定(要精密検査)の場合慢性腎臓病の病診連携医は、糖尿病の研修も終了しており糖尿病の病診連携医も兼ねています。糖尿病についても同様にご相談いただけます。動画8に準じてかかりつけ医、または病診連携医に受診してください。

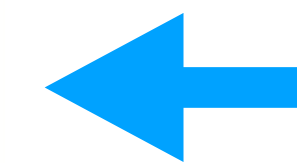
- 1 廣瀬 真 医師 [10:47] <https://youtu.be/0IPKv82SdXk> 
- 2 原口 和貴 医師 [6:16] <https://youtu.be/YXm27BNz92I> 
- 3 原口 和貴 医師 [7:20] https://youtu.be/QcTBB_6rsyo 
- 4 古屋 文彦 医師 [9:10] <https://youtu.be/YMGdIMPqP20> 
- 5 内村 幸平 医師 [8:59] <https://www.youtube.com/watch?v=3BYuDYd3W4> 
- 6 温井 郁夫 医師 [4:50] <https://youtu.be/AtDGzY9utRE> 
- 7 斉藤 慶子 看護師 [6:54] <https://www.youtube.com/watch?v=wEDeRRamdLY> 
- 8 山本 葉月 保健師 [8:32] <https://youtu.be/9PALJWUUKMQ> 

動画数
9個

チャンネル登録者数
340人

2022年12月22日時点での動画再生回数
48509回

現在は新たな動画作成に向けて山梨腎臓内科医会で検討中です。



チラシは令和4年度厚生労働科学研究費補助金(腎疾患政策研究事業)「腎疾患対策検討会報告書に基づく慢性腎臓病(CKD)対策の推進に資する研究(課題番号22fd1001)」の支援で作成できました。筑波大学山縣邦弘先生に深く感謝申し上げます。